

生活習慣病対策 健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修
事業評価編 演習



国立保健医療科学院 生涯健康研究部
公衆衛生看護領域
川崎 千恵

演習の目標

特定健診・特定保健指導の事業評価支援、広域的な事業評価にかかる行動計画の立案（評価の体制整備に関する計画を含む）を行い、具体化することができる。

確認事項

事業評価支援とは

市町村（保険者）の事業評価（個人や集団の健康課題の分析と事業評価）を支援する

広域的な事業評価とは

市町村（保険者）が行う「特定健診・特定保健指導事業」について、広域的な事業評価（集団の健康課題と事業の課題の分析）を行い、市町村（保険者）が課題を改善できるように支援を行う

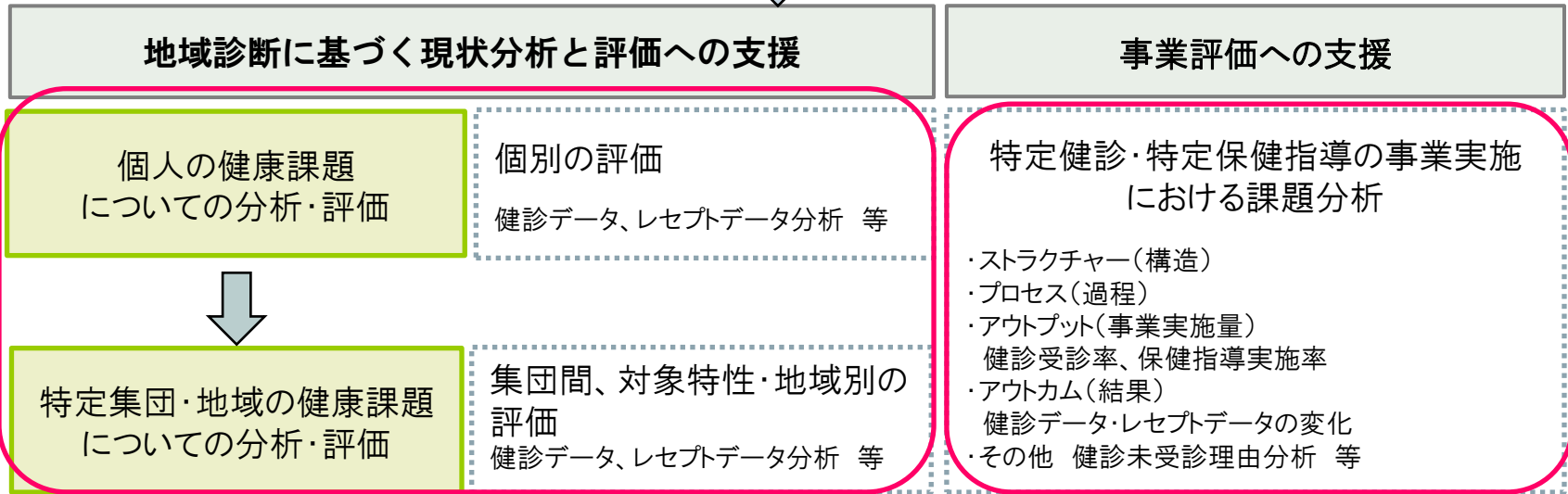
演習のタイムテーブル（6月3日）

時間配分	内容	備考
6月5日 16:25～18:00	グループ・ワークⅠ	事前課題についての情報交換、課題の共有 ベースとなる事例の選定（95分）
6月6日 9:30～11:30	グループ・ワークⅡ	支援計画の作成（120分）
11:30～12:30	休憩	
13:30～14:05	グループ・ワークⅡ	支援計画の作成（35分）
14:05～14:20	会場移動・休憩	
14:20～15:30	発表・まとめ（「事業評価支援」、「広域的な事業評価」それぞれについて、 「支援・評価の名称」ごとに計4つ程度、各15分）	
15:30～16:00	評価表の記入、閉講式（演習USBデータ提出）	

事業評価支援の全体像(都道府県等が市町村(保険者)に対して行う)

事業評価支援

事業評価支援の体制整備((実施主体・連携機関それぞれの役割の明確化)
事業評価支援の計画立案(スケジュール作成)



特定健診・特定保健指導の事業についての総合評価への支援
(課題の整理を含む)



特定健診・特定保健指導の事業実施への
評価結果の反映における協力

広域的な事業評価の全体像

広域的な事業評価の体制整備(実施主体・連携機関それぞれの役割の明確化)



地域診断に基づく複数保険者の現状分析

複数保険者の事業評価

個人の健康課題
についての分析・評価

個別の評価

健診データ、レセプトデータ分析 等

特定健診・特定保健指導の事業実施
における課題分析

- ・ストラクチャー(構造)
- ・プロセス(過程)
- ・アウトプット(事業実施量)
健診受診率、保健指導実施率
- ・アウトカム(結果)
健診データ・レセプトデータの変化
- ・その他 健診未受診理由分析 等



特定集団・地域の健康課題
についての分析・評価

集団間、対象特性・地域別の
評価

健診データ、レセプトデータ分析 等

特定健診・特定保健指導の事業についての総合評価
(課題の整理を含む)



市町村(保険者)に情報として提供



特定健診・特定保健指導の事業評価における課題の
解決に対する協力

・広域的な事業評価

・事業評価支援
・評価結果に基づく
・事業計画策定、評価
・体制整備などの支援

グループ分け（別紙参照）

市の受講生は、

- 「事業評価支援」については保険者として、支援ニーズ、現状・課題などについて意見し、支援計画に反映してください。
- 「広域的な事業評価」を「市の事業評価」に置き換えて考えてください。

事業評価支援の計画（事業評価編）演習

グループ・ワーク I 6月5日（木）16:25～18:00

- 事前課題（様式A）に基づき、「事業評価支援」、「広域的な事業評価」の体制、実績（事前課題（1））や課題（事前課題（2））等について、情報交換を行う。
- 課題を共有する。
- 演習で作成する支援計画のベースとなる事例を選定する。

情報交換のポイント

- 複数保険者間の比較
事業評価がどこまでできているか
評価に基づく事業の展開ができているか
- 「事業評価支援」、「広域的な事業評価」を実施するうえで、体制は整備されているか。
協力を得られているか。
体制を整備するために（協力を得るために）どのような工夫を行っているか。
- 25年度の「事業評価支援」、「広域的な事業評価」は効果的に行われたか、ニーズに合ったものだったか。
その結果どうだったか？（「事業評価支援」、「広域的な事業評価」の結果評価）

事業評価支援の計画（事業評価編）演習

グループ・ワークⅡ 6月6日（金）9:30～14:05（途中休憩あり）

- 「事業評価支援」、「広域的な事業評価」の計画作成
演習シート1枚につき1項目（1つの支援・評価の名称とそれに対応した1つの目的）.

※上限枚数なし. 最低それぞれ1項目計2項目

※事前課題では「役割（項目）」→「実施項目」**目的を達成するために行うこと**

「事業評価支援」「広域的な事業評価」の計画作成の手順

- 支援計画の「実施項目」(事前課題では「支援・評価の名称」に該当)を挙げる.
- 「実施項目」は、どのような現状分析と事業評価の結果に基づくか考える
※地域の現状分析の結果、どのような課題がみられるか。地域間格差はあるか。
経年的にみるとどうか 等
- 目的は明確にし、目的の達成のために、「何を(実施項目)」、「具体的に」、「いつ頃」行うか考える。
また、各実施項目ごとに、「誰が(実施主体)」中心となり行うか、「(実施主体以外の)誰が
行うか(連携先)」整理する。

連携先の例: 都道府県国民健康保険団体連合会、都道府県医師会、医療機関、保険者協議会、保健所、民間事業者、都市区医師会、地域職域連合会、医療保険者、地域職域連携推進協議会、市町村関連部署(衛生部門、介護保険部門等)等

事業評価支援の計画（事業評価編）演習

発表・まとめ 14:20～15:30

「事業評価支援」、「広域的な事業評価」それぞれについて、「支援・評価の名称」ごとに計4つ程度発表していただきます。

のちに、「事業評価支援」や「広域的な事業評価」を行ううえでのまとまった参考資料として、作成したものを共有します。

演習シートの提出について

閉講式終了後、

グループで作成した演習シートを、演習開始前配布したUSBに保存して提出してください。

ファイル名には、グループ名を記載すること。

★提出されたファイルは、まとめて後日、

ホームページ上に講義受講者のみ閲覧・ダウンロード可能な状態で掲載します

⇒講義受講者のみに限定するのか？